

【中学校・3年・道徳科・「足袋の季節」（Dよりよく生きる喜び）】

育成を目指す資質・能力

B1（個に応じた学習）

C1（発表や話し合い）

つり銭をごまかし、それを償うことができなかつた過去を振り返る「私」の物語を通し、自分の弱さを見つめ、それを乗り越えるとはどういうことなのかを考え、誠実に生きようとする心情を育む。

ICT活用のポイント 【活用したソフトや機能】 学習支援ソフト 表計算ソフト

- ・1人1台端末に記録した学習感想を表計算ソフトから、表計算ソフトを使ったテキストマイニングを活用して共有し、本時の振り返りや導入に役立てる。
- ・学習感想を1年間の「学びの記録」として1人1台端末に蓄積していく。

学習の流れ

これまでの学びを共有し、振り返る。

自分の弱さと向き合い、それを乗り越えるとはどういうことかを教材を通して考える。

本時の振り返りをする。

事例の概要

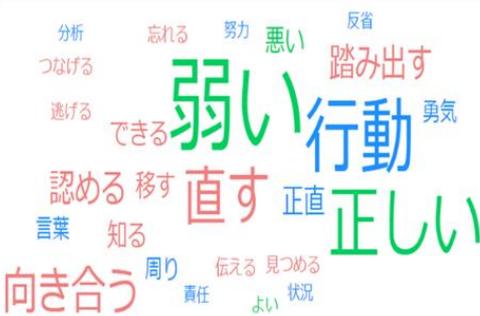
本授業ではまず、導入の場面で内容項目において本教材と関わりのある「三年目の『ごめんね』」の授業の振り返りを表計算ソフトを使ったテキストマイニングを用いておおまかに整理し、めあてに関連する価値についての考えとして共有した。

展開の場面では、自分の弱さと向き合い、それを乗り越えるとはどういうことかについて、役割演技やペアでの話し合いを通して考えを深めるようにした。

終末では、めあてに対する自分の考えを表計算ソフトに回答させ、共有することで、その後の発表や今後の授業につなげるとともに「学びの記録」として蓄積するようにした。

【中学校・3年・道徳科・「足袋の季節」（Dよりよく生きる喜び）】②

【事例におけるICT活用場面①】



・「UserLocalテキストマイニング」
<https://textmining.userlocal.jp/>

【事例におけるICT活用場面②】

道徳 1年間の学びを振り返ろう

3年 組 番 〇

教材	めあて	自分の答え
1 「礼儀正しさとは」	礼儀正しさとはなんだろうか。	行動の意味を考えて、尊敬や感謝などの自分の気持ちを行動に表すこと
2 「海番号10」	誰かと関わり合うときに、大切なことはなんだろうか。	自分が思ったことだけを考えるのではなく、見方を変えて周りをよく見ること
3 「あの日 生まれた命」	かけがえのない「命」を大切にすることは、どういうことだろうか。	命には始まりと終わりがあることを忘れず、今を一生懸命生きていくこと 失われた命を悔いないこと
4 「三年目のごめんね」	自分の弱さを向き合うとは、どういうことだろうか。	自分の弱さをどんなことがきっかけで分かったのか分析し、次は自分が正しいと考えたことを試みる
5 「小さな出来事」	公平な態度で人と接するに大切なことは、なんだろうか。	知らないうちに差別をしていないか考え、相手の身分や歳ではなく、相手の行動を見て判断すること
6 「『リクエスト』を伝える」	自分の仕事へのやりがいは、どこから生まれてくるのだろうか。	その職についたからには、自分にしかできないことを誰かのためにやりとげようとするプライド
7 「サクラダ・ファミリア 一歩が離れていく悪い」	壁を超えて受け継がれていくものの価値とは、なんだろうか。	自分が生きている時代ではない人たちのものを通してつながれることや、そのものに関わってきた人たちの思いを知る
8 「経験プログラムをつくりたい 一人一歩を踏み出す経験」	真理を探究するとは、どのようなものだろうか。	自分が知りたかったことを目標に定めて、それを追い続けること
9 「がんばれ おまえ」	「自分」とは、なんだろうか。	弱さの自分、よく見せようとする自分のどちらも繋がっていて、変わろうと頑張ったり悩んだりしているのは同じだから、どんな自分も本当の自分
10 「足袋の季節」	自分の弱さと向き合い、それを乗り越えるとは、どういうことだろうか。	失敗や後悔から自分の弱さを克服し、その経験を活かす機会に生かしたり自分の人生を考えたりすること
11		

ICTの活用ポイント

導入では、「三年目の『ごめんね』」の振り返りをテキストマイニングを用いて整理したことで、これまでの学びを授業前の価値として位置付け、短時間で二つの教材を比較して考える視点をもたせることができた。

終末では、めあてに対する自分の考えをクラスで1枚の表計算ソフトに回答させた。それを指名に生かすことで、様々な視点から本時の学びを振り返ることができた。また、1人1台端末の蓄積を個人用に整理することで、生徒が自分の1年間の学びを振り返ったり、指導者が生徒の長期的な変容を見取ったりすることもできるようにした。

ICT活用事例 BI（個に応じた学習）CI（発表や話し合い）

主題名 自分の弱さを見つめ、それを乗り越える（第3学年D（22）よりよく生きる喜び）

教材 「足袋の季節」

使用機器：1人1台端末、電子黒板

活用したソフトや機能：学習支援ソフト 表計算ソフト

〈ICT活用のポイント〉

- ① めあてに対する自分の考えを1人1端末に記録し、授業者は入力されたそれぞれの考えをテキストマイニングにより把握・整理して全体に共有する。それにより多面的・多角的な考えに触れながら、本時の学びを振り返ることができる。
- ② 毎時間、その授業の学びを1人1台端末に記録することで、長期的な変容の見取り（評価）や生徒の「学びの記録（これまでの学習を振り返り、自己の学びや成長を実感できる資料）」として1年間の学びの振り返りに活用する。

1 生徒の実態

中学3年生になり、自分を俯瞰的に振り返りながら、心の中に弱さをもっていることや、それに向き合わなければならないことをだんだんと理解できるようになってきた。しかし、そのような自分の弱さや醜さが行動に表れたときに、自身の「弱さ」から目を背けてしまったり、叱られなければいいと考えたりする生徒も少なくない。

そのような実態を踏まえ、第4回の道徳「三年目の『ごめんね』」（第3学年A（1）自主、自律、自由と責任）の授業においては、自分の弱さと向き合い、誠実に行動するとはどういうことなのかについて道徳的な価値理解を深めることができた。「三年目の『ごめんね』」においては、主人公が自分の弱さを認め、きっかけを得て傷つけた友人に謝罪することができたが、本教材ではそれが叶わない。そこで、謝罪が永遠にできない状況となり、深い後悔を抱く主人公の姿から、そのような状況において改めて自分自身の弱さを見つめ、それを乗り越えるとはどういうことなのかを考えさせたい。

2 ねらい

つり銭をごまかし、それを償うことができなかった過去を振り返る「私」の物語を通し、自分の弱さを見つめ、それを乗り越えるとはどういうことなのかを考え、誠実に生きようとする心情を育む。

3 教材名

「足袋の季節」（光村図書「きみがいちばんひかるとき 中学道徳3年」）

4 考えさせたいこと

自身の後悔や情けなさから逃げずに、かえってそれを糧として自分の生き方をよりよいものにしようと、悩みながらも前を向いている「私」の具体的な思いを見つめることを通し、自分の弱さを見つめ、それを乗り越えるとはどういうことなのかを考えさせたい。

5 学習指導過程

学習活動と主な発問・予想される生徒の発言 ○発問 ◎中心発問 (補)補助発問 ・生徒の意見	指導上の留意点 □留意点 ■ICTの活用
<p>1. 自分の弱さと向き合うことについて、これまでの学びを振り返りながら、自身やクラスがどのような価値をもっていたかを確認し、本時のめあてをとらえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて 自分の弱さと向き合い、それを乗り越えるとはどういうことだろうか。</p> </div> <p>2. 「足袋の季節」を読み、めあてについて考える。</p> <p>○「私」は、なぜ今になっておばあさんを訪ねたのだろうか(口頭)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・謝罪や感謝の気持ちを伝えたい。 ・弱さに負けてしまった自分の過去にけじめをつけたい。 <p>◎「あのおばあさんが私にくれた心を、今度は、私が誰かに差し上げなければならない」とあるが、どういうことか。それは、「私」にとってどんな意味があるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接、おばあさんに恩を返すことはできないけれど、自分も同じように誰かを救うことがおばあさんへの恩返しになる。 ・おばあさんのことを忘れずに、後悔や謝罪の気持ちと向き合い、そこから自分に何ができるか考えている。 ・後悔を自分の人生や考えに活かすと、自分を許せたり、変われたりするような気がする。 <p>○おばあさんのもとから帰ってきた「私」に対して友人が次のように話しかけてきた。あなたが「私」だったらどのように答えるだろうか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>友人 「おばあさん亡くなっていたんだってね。せっかく会いにいったのに残念だったな。どうにもならないことはさっさと忘れて、またがんばれよ。」</p> </div> <p>3. 本時の振り返りを記入し、学びを交流する。</p>	<p>■「三年目の『ごめんね』」の授業の振り返りとして、めあてに対する自分の考えを【表計算ソフト】に打ち込ませておく。本時では、それら【テキストマイニング】を用いて整理し、授業前のめあてに対する価値として全体に共有する。</p> <p>□「三年目の『ごめんね』では、自分の弱さを認め、傷つけた友人に謝罪することができたが、本教材ではそれが叶わないことを伝え、そのような状況において、自分の弱さを乗り越えていくとはどういうことなのか考えていくことを確認する。</p> <p>□謝りたい気持ちや感謝の気持ちを伝えることに加え、自分の過ちから逃げず、弱さに負けた自分にけじめをつけようとした「私」の思いを捉える。</p> <p>□他人や周りがどうこうではなく(おばあさんに何ができるかではなく)、自分の中にある後悔や情けなさから逃げ出さずに、それを、自分自身を変える(よりよく生きるための)強さにしていくこと、おばあさんの心や行動の価値を本当の意味で理解し、「その心を誰かに差し上げる」ことが、亡きおばあさんの気持ちに応えることになることを押さえる。</p> <p>□役割演技をして学びを深める。演者には何を大切にしてそのセリフを考えたのか、見ている生徒には演者のセリフのどこがよかったかを問ひかけ、それらを交流することで、本時の学びやそれによって生徒が捉えた価値を整理し、学びを深める。</p> <p>□全体交流のときは友人役を授業者がつとめる。</p> <p>■本時の振り返りとして、めあてに対する自分の</p>

考えを【学習支援ソフト】の機能を使い、【表計算ソフト】に回答させる。生徒がワークシートに振り返りを記入している間に、入力された考えを指導者が把握し、その後の振り返りの発表における指名などに活用する。

7 評価の視点

- ・教材における「私」の思いや多様な他者の意見にふれながら、自分の弱さと向き合い、それを乗り越えることとはどういうことなのか、さまざまな視点から考えている。
- ・人間のもつ弱さに共感しながら自身を振り返り、それを乗り越えてよりよく生きていくことの難しさや強さ、気高さを自分のこととして捉え、考えている。

8 板書計画

第10回道徳 「足袋の季節」

◎自分の弱さと向き合い、それを乗り越えるとは、ということだろう。

○なぜ今になって訪ねたのだろう。

・感謝の気持ち 謝罪を伝えたい。

・自分の過去にけじめをつけたい。

「おばあさんが私にくれた心を

今度は私が誰かに差し上げなければ
ならない」

○どのような意味があるのだろう。

・直接、おばあさんに恩を返すことは
できないけれど、自分も同じように
誰かを救うことが恩返しになる。

・後悔や謝罪の気持ちと向き合い、そ
こから自分に何ができるか考えてい
る。

・後悔を自分の人生や考えに活かす
と、自分を許せたり、変われたりす
るような気がする。

9 学習指導の様子（成果と課題／ICTの効果的な活用について）

○導入においては、「三年目の『ごめんね』」の授業の振り返りを【テキストマイニング】を用いて整理し、全体に共有した（資料①）。それにより、これまでの学びを授業前の道徳的な価値として位置づけることができた。また、「三年目の『ごめんね』」とは異なり、後悔をどうすることもできない状況においては、どうすれば自分の弱さと向き合い、乗り越えることになるのか、二つの教材を比較する視点を短時間でもたせることができた。

○終末においては、めあてに対する自分の考えを、クラスで1枚の【表計算ソフト】に回答させた。短時間で生徒の考えを把握・整理することができ、それを指名に生かすことで、さまざまな視点から本時の学びを振り返ることができた。毎時間、その授業の学びを1人1台端末に蓄積していくことで、自分の1年間の学びを振り返ることのできる資料となる（事例におけるICT活用場面②）。また、指導者が生徒の長期的な変容を見取るのにも役立てられる。

△アンケート機能での集約や個人の記録として入力させるのではなく1枚のシートにまとめたが、個人的な記録とすべきか検討する必要がある。シートを見ながら、短時間で生徒が仲間と自分の考えとを比較しながら振り返る時間をつくることができたのはよかったが、1人1台端末の操作に慣れておらず、他の生徒のデータを間違えて消してしまう場面や、自分の考えをもつ前に他の生徒の意見に触れてしまう場面があった。

×端末を使った振り返りの時間を確保することが難しい。事前に教材文を読んだり、発問を精選したりするなどの工夫が必要になる。

「足袋の季節」

番 名前 _____

めあて 自分の弱さと向き合い、それを乗り越えるとは、ということだろうか。

- 1 「あのおばあさんが私にくれた心を、今度は、私が誰かに差し上げなければならない」とあるが、どういうことだろうか。それは「私」にとってどんな意味があるのだろうか。

- 2 おばあさんのもとから帰ってきた「私」に対して友人が次のように話しかけてきた。あなたが「私」だったらどのように答えるだろうか。



おばあさん亡くなっていたんだってね。せっかく会いにいったのに残念だったな。どうにもならないことはさっさと忘れて、またがんばれよ。



今日の道徳を振り返って	とても思う	少し思う	あまり思わない	全く思わない
①授業に意欲的意取り組むことができた				
②テーマについて、深く考えることができた				
③テーマに関することを、何か行動してみようと思った				

めあてに対する自分の考え → Classroom からスプレッドシートに入力しよう

.....

.....

.....

.....

.....